

グッドネーバース・ジャパン
年次報告書
2012
2012.1-2012.12



ごあいさつ

特定非営利活動法人グッドネーバース・ジャパンは、国際NGOグッドネーバースの日本法人として、日本（東日本大震災復興支援）を含む9カ国で子どもの教育支援を中心とした地域開発や災害時の緊急支援を実施しています。

2012年、グッドネーバースはドミニカ共和国、ラオス、中央アフリカ、ニジェール、ザンビアで新たにプロジェクトを開始し、その活動国は30カ国を超えました。グッドネーバース・ジャパンのスタッフも、ミャンマー、エチオピア、ベトナム、バングラデシュ、チャド、チリ、グアテマラ、インドネシアに干ばつの緊急支援や、現地調査などで世界中を飛び回りました。

国内で継続してきた東日本大震災の復興支援活動につきましては、子どもの遊び場支援や仮設住宅に暮らす高齢者の方を対象としたパソコン教室、色彩心理の専門家と協働したアートセラピー、三陸の高校生がインドネシア・スマトラ島沖地震（2004年）の被災地にて、復興の様子を視察する研修といった、『子どもを対象とした支援』や『継続性が重要とされる心のケア』に力を注いでまいりました。その結果、アートセラピー活動を通して被災地の子ども達に心の回復の兆しがみられはじめ、当プログラムを半年間延長して9月まで復興支援を実施する予定です。

このほか、2013年は途上国での子どもの環境改善のための地域開発はもちろん、世界の子どもの現状やグッドネーバースが取り組んでいる課題を国内の多くの人へ伝えるための啓発活動や、国内の教育機関を対象とした国際理解教育にも積極的に取り組んでまいり所存です。

今年も支援者の皆様への責任の一つのかたちとして、また、心からの感謝を込め、一年間の活動の成果として「年次報告書」をお送りします。

2012年の皆様のご支援の成果をご確認いただき、2013年もより多くの子ども達に質の高い支援を届けられるよう、今後も継続的なご関心・ご支援をお願い申し上げます。



福井 玲

グッドネーバース・ジャパン代表理事
東京大学教授

ビジョン - 目指す世界 -

子どもの笑顔にあふれ、
誰もが人間らしく生きられる社会

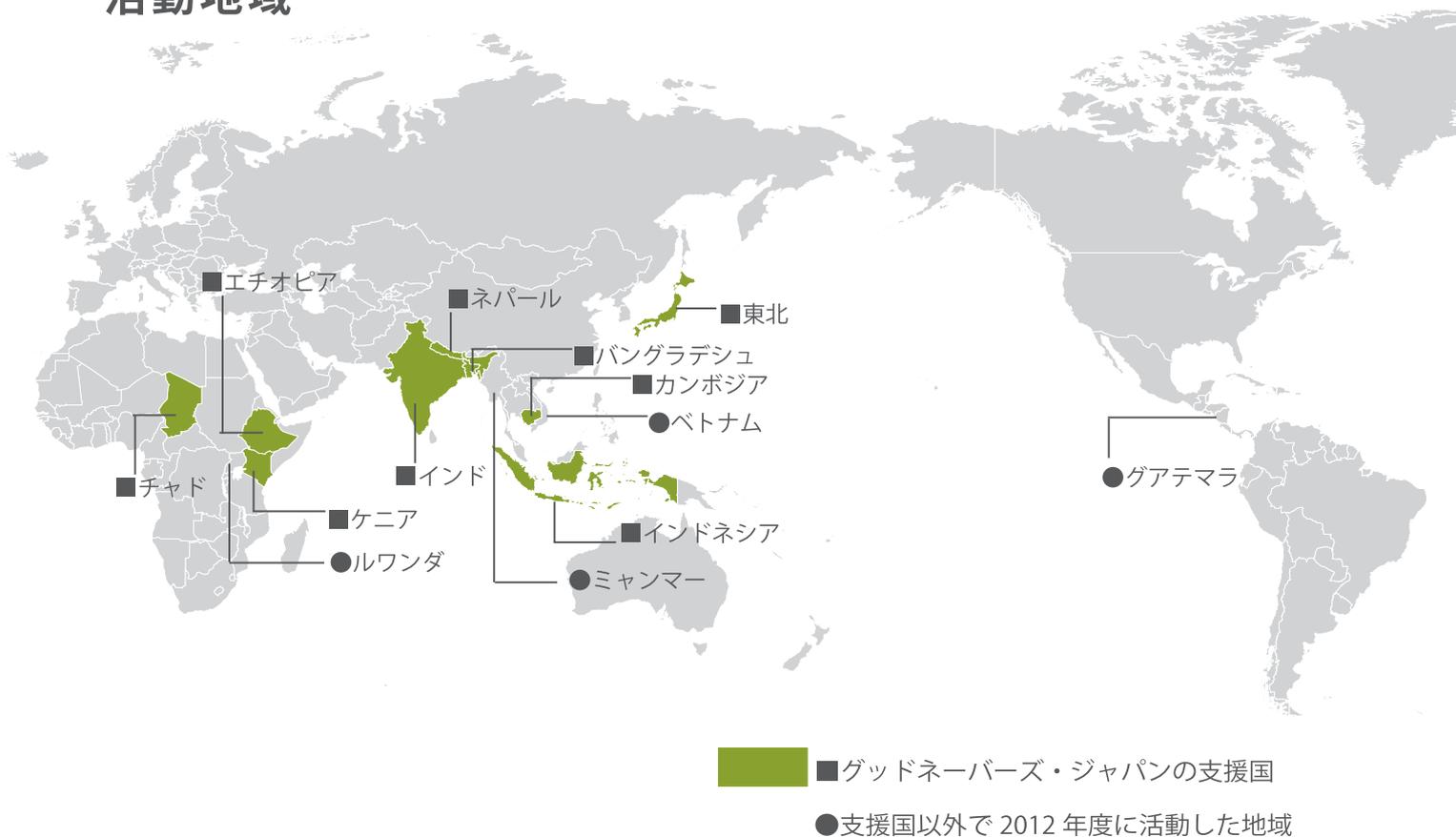
ミッション - 取り組んでいること -

国内外のパートナーと共に、貧困及び差別の
原因や災害・紛争による脅威を取り除く

目次

- 2 ごあいさつ
- 3 目次 / 活動地域
- 4 東日本大震災における活動
- 6 海外のコミュニティー開発事業
- 22 海外の緊急支援活動
- 24 広報・啓発活動
- 26 会計報告
- 27 組織概要・役員一覧

活動地域



今、世界では・・・

小学校に通えない子ども達の数、6,100万人。

1日約2万人の子どもが5歳の誕生日を迎えずに亡くなっています。

児童労働に従事する子ども、2億1,500万人。

8人に1人が十分な食べ物を得られません。

貧困から発生する様々な問題において、特に被害を受けやすいのが子ども達です。私たちに何ができるでしょうか。

2012 東北支援活動報告

こんにちは

2012 年、グッドネーバース・ジャパンは岩手県大槌町・釜石市、山田町を中心に「子どもを対象とした支援」、「心のケア」に力を入れて復興支援活動を実施しました。

パソコン教室は、仮設住宅の住民および、在宅被災者の方々に外出のきっかけを作り、新しいことを学び前向きに暮らしていただくため心のケア事業として始まりました。その結果、教室を行うたびにみなさんの表情がイキイキとしていく様子が感じ取れました。また、2013 年 3 月には岩手県の高校生を対象に、インドネシア・スマトラ島沖地震（2004）の被災地アチェ州にて、復興の様子を視察する研修を実施しました。帰国後、研修生 16 名は「津波による被災地」という共通点のあるアチェ州の現在の復興の様子をヒントに、学んだ事、考えた事をどう行動に移すかを考えました。

あの震災から 2 年余り、まだまだ時間がかかるとは思いますが、我々は「復興活動の主体性」というバトンを地域住民の方々に徐々にお返しする時期ではないかと感じております。

パソコン教室は、終了後も参加者の方が中心となり自主的に企画・運営するという動きが見られ、インドネシア研修に参加した高校生も、地域のボランティアに登録したり海外から来る人に被災の経験を伝えるプログラムに参加するなど、実際に動き出しています。

このようなことから、当団体は 4 月に岩手事務所を閉鎖致しましたが、色彩心理の専門家と協働している、「アートセラピー」に関しては、ストレスを受けた子ども達の心に回復の兆しが見えてきたこともあり、9 月まで事業を延長しております。

アートセラピーが終了するまでは引き続き募金も続けてまいりますので皆様からのご協力をお願いするとともに、これまで震災緊急支援にご寄付・ご協力くださった皆様に改めて感謝いたします。

グッドネーバース・ジャパン
震災復興支援部 部長 武鐘史恵

※震災復興支援部は 2012 年 4 月の組織編成時に解散しました。



GNJP スタッフとインドネシア研修生

■活動地域
(岩手県)



先生へ感謝状

私がグッドネーバース・ジャパンのパソコン教室に参加したきっかけは、友達の「パソコン始めてみない？」という言葉です。その頃の私は気分は落ち込み、狭い仮設の 4 畳半 2 間に大人 4 人、解決のできない住宅ローン、ストレス 100%…。明るい性格のはずの私は心の底なし沼の中に沈んでしまい、自身のコントロールさえ失いかけていました。

まさにそんな時、イヤイヤ半分集会所の見ず知らずの生徒さんの中に入り、緊張しながら初期操作から教わりました。なんとその授業がとにかく楽しかったのです。

今はパソコン教室が楽しみ！いつの間にか私は、震災前の自分に戻りつつある。ある。ある。本当に、高久先生の人柄には心から感謝です。

※パソコン教室に参加した生徒さんからのお手紙より抜粋

活動の成果

- ✓ 3カ所の児童施設で計 18 回、アートセラピーを実施(9月まで継続中)
- ✓ 岩手県の高校生 16 名が、インドネシア研修に参加
- ✓ 山田町の 7 カ所の仮設住宅住民と在宅避難者の方を対象に 7 カ月以上にわたりパソコン教室を実施

子ども達の心に変化

2012年7月から大槌町にあるおさなご幼稚園・大槌町託児所・安渡保育所で、アートセラピープロジェクトを実施。アートセラピーとは創作活動の中で自由に表現し、自分の抱えているものを発散する心のケアです。グッドネーバース・ジャパンは、「東日本支援チーム・アート de セラピー」の色彩心理の専門家と協力して、月に一度の頻度で活動してきました。

初めは不安や恐怖などの感情を吐き出すために、単色使いでグチャグチャの作品を作る傾向が見られますが、次の段階では具体的なものを描き始めたり、作り始めたりします。これは、自分と向き合い心が安定するという心の変化の表れだということです。

アートセラピー活動は、2013年9月まで継続し実施される予定です。



好きな画材で思いきりお絵かき

一刻も早く安全な道路を

大槌町の仮設住宅の多くは、内陸部の山奥や田畑などの間に位置し、周辺の道路は狭く整備されていない道ばかりです。冬季には路面が凍結し、仮設住宅群に入る道路で車の脱輪や高齢者の転倒といった事故が相次ぎました。グッドネーバース・ジャパンは仮設住宅住民の声に答え、全国から募金を募り、181世帯の仮設住宅入居者が暮らす巖岩（ほろいわ）地区と生井沢（なまいさわ）地区にガードレールを設置しました。

キリキリと鳴く美しい砂浜を再び

津波による大きな被害を受けた大槌町吉里吉里海岸を震災前の状態に戻すべく、2012年4月から10月まで大槌町社会福祉協議会与連携し、「吉里吉里海岸清掃プロジェクト」を実施しました。海岸のゴミ拾いの後、砂の中から石やガラスの破片などを篩にかけ取り除くという根気のいる作業ですが、これまで約300団体・3,776人のボランティアの方にご協力いただきました。外部のボランティアの方だけでなく地元企業や個人の方も加わり、被災地の方が自ら復興に向けて活動する様子もみられました。



砂をふるいにかけるボランティア

2012 カンボジア活動報告

ハロ！（こんにちは！）

カンボジアの子どもたちとその家族への支援を継続していただいたサポーターの皆様へ感謝します。皆様のサポートにより、カンボジアのすべてのプロジェクト地域において子どもたちや貧困家庭の生活改善というミッションを進めることができています。

2012年には、5,422名の子どもと12,000名の地域住民に支援を届けることができ、支援の受け手である彼らだけではなく政府も皆様に感謝しています。

2012年のカンボジアの国内総生産は6.2%という高い成長を遂げていますが、ポル・ポト政権支配下における内戦の影響が残っているために、いまだに海外からの支援に依存している部分があります。

2013年には政府、ボランティアそして地域とのパートナーシップによって6,422名の子どもと14,500名の地域住民のために、教育支援や保健衛生支援、収入向上支援などのプログラムを計画しています。

皆様のご協力に感謝しております。これからも継続的なご支援をよろしくお願いいたします。

オークンチュンラン！（ありがとうございます！）

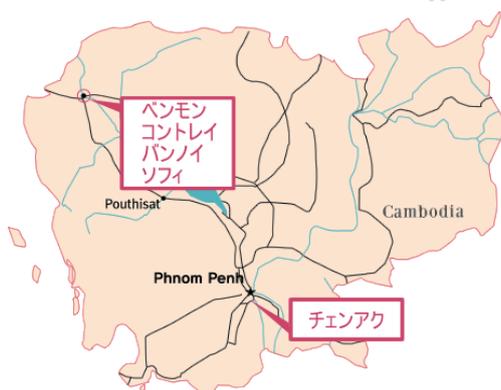
グッドネーバース・カンボジア
事務局長 ソン・スジン



グッドネーバース・カンボジアスタッフ一同



活動地域



活動の成果

- ✓ 14 校の小学校と 2 カ所の託児所を運営、支援
- ✓ 4,241 名の子どもに予防接種と医薬品を提供
- ✓ 580 名が利用する、140 基のトイレを設置
- ✓ 64 世帯の家屋の修理または改築を補助
- ✓ 1,250 人が使用する 3 カ所の農業用水施設を開発

また学校に通えるようになるなんて

こんにちは！私はプノンペンに近いロールオス村に住んでいます。中学校の生徒（14 歳）です。

私は昨年までグッドネーバース・カンボジア（GNC）が運営する小学校の 6 年生でしたが、2012 年の初めに学校を辞めなくてはならず、どうしようもない状況でした。学校に通う友達を見るたびに嫉妬し、ひどく動揺しました。退学はしたくありませんでしたが、父が重病を患い、治療のためのお金がなかったので仕方ありませんでした。

母は治療費のために借金をしましたが、返済するお金がなく、私は住んでいる町から遠いタイとの国境沿いにあるレストランで働かなければなりませんでした。それはとても辛く、それ以上に家族と学校が恋しくて私は毎晩泣いていました。

そこで働き始めてから、私の体重はどんどん減りました。自分の人生は終わったんだと感じ、再び学校に戻るチャンスが巡ってくるなんて思ってもみませんでした。

ところがある日、母がレストランに来て、「あなたを連れ戻しに来たわ」と言ったのです！信じられませんでした。私は自分の耳を疑いましたが、それは現実でした。実際には、母は GNC の支援で 80 人の園児が在籍するセンターで調理師の職を得て、さらに GNC からの支援もあって借金を返済でき、私を連れ戻すことができたのでした。そして私は、一番願っていた「もう一度学校へ行く」というチャンスを得ました。

今は 2012 年期末試験を無事終え、中学校で勉強を続けています。私の家は貧しい家庭ではありますが、GNC が自転車、制服、そして教材を支援してくれるため、貧しさはもはや大きな問題ではありません。

父は病気がよくなったら、警備員として我々家族を支える予定です。

サンバスちゃん



大好きなお母さんと一緒に



チェンアクにある小学校の卒業式

2012 インドネシア活動報告

スラマツ シアン! (こんにちは!)

2012年、インドネシアは政治・経済面ともに安定して発展しました。一方、自然災害はあまり多くはなかったのですが、都市に資本が集中したため都市と農村の格差が大きくなりました。

そこで、グッドネーバース・インドネシアでは農村・漁村地域の収入向上支援を集中して行いました。スカブミ地域では地域の特産品であるバナナ、キャッサバを加工・販売する技術訓練を、パダン地域では魚を加工する技術訓練を実施しました。ポゴール地域では竹を利用した椅子とテーブルの生産を始めました。2013年には各地域の生産品を販売できるよう準備しています。

またインドネシアでは都市の貧困層が増加しており、子どもの保護が課題になっています。そこでラワバダク地域では子どもの面倒を見る仕組みを拡げ、子ども達を保護しています。親が働く間、子ども達は図書館で本を読み、放課後教室で英語を習います。世界市民教育を通じ子どもの権利の重要性を啓発するため、インドネシア中央政府児童委員会と業務協約を結びました。これから子どもの保護システムのさらなる強化に力を注いでいきます。

この他の事業もすべてサポーターの皆様のご支援によって行われています。サポーター様との出会いによって子どもの人生を変えることができました。この出会いを通じてサポーター様の人生も変わるのであれば幸いです。

トゥリマカシ! (ありがとうございます!)

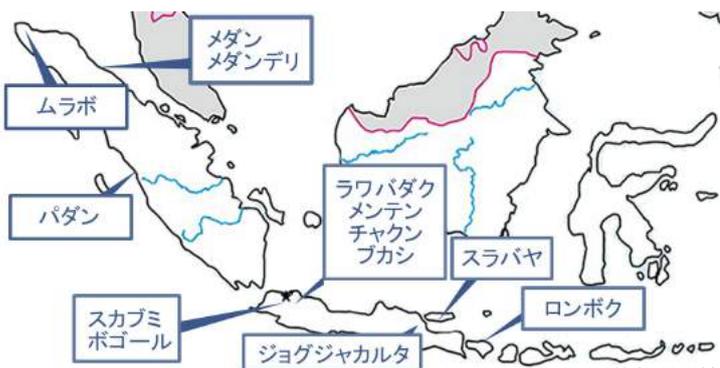
グッドネーバース・インドネシア
事務局長 パク・ドンチョル



グッドネーバース・インドネシアスタッフと子ども達



活動地域



笑顔で登校

活動の成果

- ✓ 給食を 4,683 人の子どもに提供
- ✓ 3,096 人の子どもに健康診断を実施
- ✓ 1,240 人が利用する井戸 11 基を設置
- ✓ 農業研修の受講者数 166 人
- ✓ 子どもの権利保護セミナーの参加者数 1,391 人

治療をうけて元気に

2012年1月にグッドネーバース・インドネシアのスタッフが家庭訪問をしたとき、10日前から高熱と腹部の肥大化に苦しんでいるイリヤーナちゃんという名前の子どもに出会いました。すぐにムラボ地域の病院に連れていきましたが、「病院の設備が不十分なため、診断ができない」と医師から言われました。その医師の勧めでバンダアチェにある病院へ行きCTスキャンを受けた結果、彼女は肝臓と脾臓が共に拡大する肝脾腫大症にかかっていることがわかり、その病院で薬の投与を受けることができました。治療がうまくいって、イリヤーナちゃんの現在の健康状態は良好です。先生になるために大学まで進学する予定です。

イリヤーナちゃん



意見を言うことの大切さ

こんにちは。私は中学校の2年生で、パダンに住んでいます。去年の6月にグッドネーバース・インドネシア(GNI)が私の学校で「子ども選挙」を開催しました。子ども選挙とは、インドネシアの子ども達が何が好きで、何が嫌いかを決めるイベントです。まず、私は自分の名前を登録してGNIのスタッフからもらった紙に「好きなもの」と「嫌いなもの」を投票しました。投票用紙を投票箱に入れ、そのあとに署名を行い、最後に記念品のピンをもらいました。

GNIのスタッフが私と友達に選挙のことを説明してくれた時、私は少し驚きました。なぜならその時に初めて、18歳以上の人には選挙権があると知ったからです。子ども選挙では私の意見を言うことができました。私は他の人に「自分の意見を言う」ということをしてみたかったのです。他人が私の意見を聞くこと、そしてそれが共有されることが大切です。インドネシアの子ども達が、このように自分の意見を言えるよう勇敢になってほしいです。

ナターシャちゃん



選挙を終えた子どもたち

2012 バングラデシュ活動報告

バロ アチェン? (お元気ですか?)

2012年はグッドネーバース・バングラデシュの活動において、子どもと女性の権利の分野で良い変化がありました。

11のプロジェクト地域において、初等・中等教育の試験合格率が向上し、児童委員会の活動もあって出生届の提出率が増加しました。さらに子どもの栄養状態も改善され、子どもの権利保護への取り組みのため、すべての地域で児童委員会が設立されました。

支援児童の母親に対しては、元々あった地域開発委員会を組織化し、信用組合を設立して政府の認可を受けました。信用組合運営を任せることで雇用の機会を提供しています。恵まれない環境にいる女性には収入向上プログラムを通して職業訓練を行い、135人の女性へ雇用の機会を作ることができました。その他、子どもと女性の開発プログラムのために訓練を受け組織化されたボランティアも、コミュニティ開発ため活躍中です。

今後の課題として、子どもに対しては栄養改善と試験合格率の向上を、女性に対しては、これまでより多くの人達に雇用機会を提供できることを目指します。

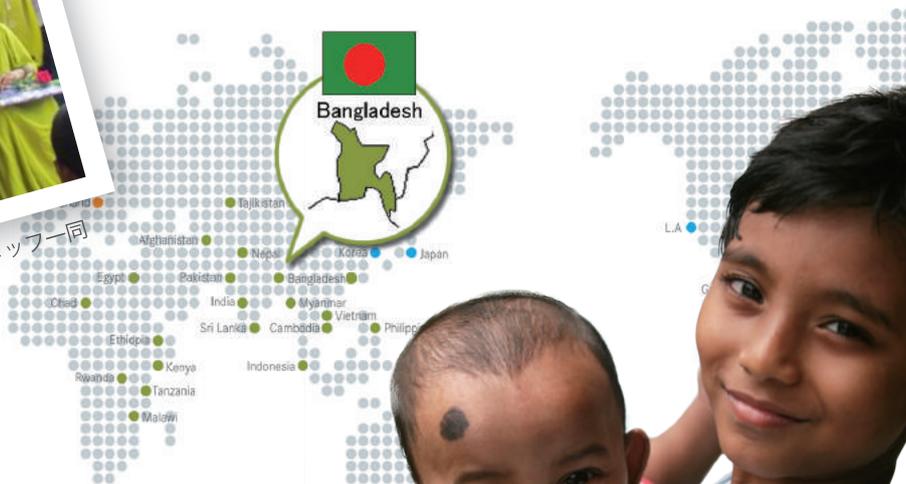
改めて皆様のご支援に感謝します。これからも継続的なご支援をよろしくお願いいたします。

ドンノバット! (ありがとうございます!)

グッドネーバース・バングラデシュ
事務局長 イ・スンヒョン



グッドネーバース・バングラデシュスタッフ一同



活動地域



活動の成果

- ✓ 就学前教育 973 人、初等教育 12,022 人、中等教育 2,448 人の子どもに教材を提供
- ✓ 42,251 人が 9 カ所の医療センターを利用
- ✓ 出生届のキャンペーンを実施した地域において、届出率が 89%（1月）から 94%（12月）へ増加

早婚から解放されました

私は 12 歳です。私の村は他の地域よりも貧しく、多くの村民が農業で生計を立てています。識字率は低く、古い迷信が残っている地域です。

2012 年 9 月に試験勉強をしているとき、私に結婚する予定があると家族から知らされました。「私はまだ 12 歳なのに！」と、とても驚きました。私の家庭は貧しく、両親は負担を減らすために私を嫁がせたかったのです。

私はグッドネーブーズ・バングラデシュ（GNB）から支援を受けていて、定期的に早婚防止・出生届キャンペーンに参加してきました。そのおかげで 12 歳という年齢で結婚するのは違法であることを知っていました。

私は早婚に対する意見を両親に伝えましたが、聞いてもらえませんでした。そこで GNB のスタッフが家に来て、児童婚に反対する私の意見をサポートし、両親と話し合ってくれました。そこで両親も早婚が違法であり、私の将来の可能性を妨げるということを理解して、結婚を取り消してくれたのです。これで安心して一生懸命勉強をすることができます。

GNB は学校の友人みんなが犠牲にならないように早婚を防ぐ取り組みを続けてくれています。

カビタちゃん



カビタちゃん（中央）とお友達

井戸から広がった可能性

私は 52 歳で主婦をしています。

私の家の近くには安全な水源がなく、飲み水を買ったり井戸を設置したりするお金もありません。そのため、家族は腹痛や皮膚病を引き起こす様々な感染症にかかってしまいました。私には 6 人の息子と 2 人の娘がいます。最近、夫は精神的な病を抱え働けなくなりました。

グッドネーブーズ・バングラデシュ（GNB）は私たちの家の近くに井戸を設置してくれ、今は近所の住民たちと一緒に使っています。井戸のおかげで、下痢や皮膚病などのあらゆる水系感染症がなくなり、医療費も減りました。

GNB は私のような女性に、井戸の管理や子どもの教育に責任を持たせる事で、女性の権利を向上させました。グッドネーブーズの会議やキャンペーンにも、毎回招かれています。井戸をしっかりと管理し、そういった活動も楽しく続けられることを願っています。

ラティブンさん



井戸に集まる近所の子どもたち

2012 インド活動報告

ナマステ (こんにちは)

いつもインドの子ども達と家族を支援していただきありがとうございます。皆様のおかげで、子ども達や家族だけではなく、政府からも感謝の意が示されています。

インドでの活動は2012年で4年目に入り、今年は多くの進歩がありました。16カ所のデイケアセンターでは、労働者を親に持つ未就学児を600人以上保護し、食事や教育を提供しています。

インド農村部では、結婚持参金制度と若年結婚が原因で、多くの女性が教育や雇用の面で不利な状況を強いられています。そのため都市部の女性と比べ、農村部では女性の権限が限られています。近年インドの女性は仕事と家庭を両立する傾向があり、それに合わせグッドネーバース・インドでは女性の能力開発プログラムを多く実施しています。

2013年度には、地域全体で子ども達の世話をし、子ども達が教育を受け続けられるよう努めていきます。また、家族が公衆衛生の設備、収入向上支援を受けることによって、より良い生活環境で過ごせるようにしていきます。

改めて皆様のこれまでのご支援に感謝します。
今後とも継続的なご支援をよろしくお願いします。

ナンドゥリ! (ありがとうございます!)

グッドネーバース・インド
事務局長 アン・スンジン



グッドネーバース・インドスタッフ一同



活動地域



活動の成果

- ✓ 1,750 人が利用する 9 カ所の図書館を運営
- ✓ 予防接種および医薬品を支援した子ども 2,200 人
- ✓ 自助グループプログラムに参加した女性 80 人の内、40 人が銀行から資金を借り入れ、3 人が起業
- ✓ 1,000 人が利用する井戸 3 基を設置

もう通学も怖くないよ

こんにちは！私はムドゥマライの森林地域に住んでいます。私の村は学校から 3 km 離れていて、森には象、虎、野犬などの動物がいます。この村には交通の手段がありません。以前は友達と一緒に学校まで歩いて通っていましたが、動物達が道をふさいでいて怖かったので、学校にたどり着く前に家に引き返してしまうこともよくありました。

ある朝、友達と一緒に学校に行く途中に、急に森から象が出てきて大きな音を立てながら私達の方へ突進してきました。私達は学校カバンを投げ出してそこから走って逃げました。

今では、グッドネーバーズ・インドが村の生徒達のためにスクールバスを提供してくれているので、怖がらずに毎日友達と学校に通えてとても嬉しいです。このおかげで出席日数も増え、勉強もよくできるようになっています。みなさん、ありがとうございます。

ボスヴァンちゃん



みんなで一緒に登下校

家族との時間が増えました

私の名前はムルガンマです。現在 55 歳で 3 人の子どもがいます。私は石切り場で日雇い労働者として働いていました。石切り場での仕事はとても危険で、また 1 年に 3・4 カ月しか働けません。暑い太陽の下で朝の 6 時から午後 4 時まで働いて 100 ルピー（約 2 ドル）しか稼げません。頭に石を載せるのでとても重いし、手足や腰も痛みました。

ある日、グッドネーバーズ・インド（GN インド）で大人のための識字教室を夜に行っていることを知り、4 カ月間通いました。自分の名前を書けるようになり、簡単な計算もできるようになって、一般知識や衛生に関する知識も増え

ました。企業家開発プログラムの研修にも参加した私は、仲間とヴィブッジ・ボンダ（地元の揚げ菓子）のビジネスをしたいと考えました。GN インドは事業実現可能性の調査と 8,000 ルピーを支援してくれ、その内 5,000 ルピーを調理道具等に投資しました。今は午後 6 時から 9 時まで仕事をして、毎日 500 ルピーの純利益を上げています。楽しくて短い労働時間で済むこの仕事ができることをとても嬉しく思います。おかげで家族と多くの時間が過ごせるようになりました。

ムルガンマさん



ムルガンマさんの屋台

2012 ネパール活動報告

ナマステ (こんにちは)

いつもネパールへのご支援ありがとうございます。

グッドネーバーズ・ネパールでは、子ども達を対象に、教育、保健衛生などの活動を中心に、家族に対する収入向上支援も行っています。収入向上支援では野菜栽培、養殖や養豚などの農業技術研修に加えて、就職指導のサポートも実施しています。地域に対しては、農業開発、用水路設置、学校や図書館建設の支援をしています。

2012年は約16,483名の子ども達、216の農業団体、61の母親支援団体、そして109の子ども支援団体を支援することができました。継続的な支援により、子どもたちの学力が上がり就学率が高まりました。また、保護者の地域開発への参加も増え、ムグやフムラ地域で協同組合の立ち上げに成功しました。さらに、助成金による支援を実施するとともに、政府機関や非政府機関との協調体制を進展させることもできました。

2013年には、新たなプロジェクトの立ち上げを予定しており、学校建設、保健衛生支援、収入向上支援に関連した地域の人々や職員向けの能力開発研修などを準備しています。

改めて、皆様のご支援に感謝します。今後とも継続的なご支援をよろしくお願いいたします。

ダンニャバード (ありがとうございます!)

グッドネーバーズ・ネパール
事務局長 コ・ソンフン



グッドネーバーズ・ネパールスタッフ一同



活動地域



活動の成果

- ✓ 668 人の女性が成人識字教室に参加
- ✓ 16,483 人の子どもに健康診断を実施
- ✓ 8,439 人が利用する井戸 170 基を設置

新しい教室ができました

こんにちは。私はバルディア地域にある小学校の校長をしています。現在 40 歳です。約 3 年前、私たちの学校はバジプールという小さな島にありました。ところが当時発生した洪水で、村全体が大きな被害を受け、家も学校も移動させられました。

私の小学校の移動先は危険な場所で、子ども達はとても暑い教室で、雨が降っていれば傘をさして勉強をするような状況でした。

この状況を改善するため、自治体やこの地域で活動している NGO に援助を依頼したところ、グッドネーブーズ・ネパール（GNN）が、学校の建設支援を申し出てくれました。新しい教室が完成し、現在約 150 名の子どもが快適に勉強することができています。学校建設のために努力してくれた GNN と、またその活動を支援してくださっているサポーターの皆さまには、本当に感謝しています。

ラビンドラさん



雨漏りしていた以前の教室

土地活用で経済を活性化

私はムグにある、アティス農民グループのリーダーをしています。私が住んでいるショバという場所は、このムグ地域でも貧しい地域で、人々の生活水準はとても低いものでした。その土地は薬草を栽培するのに適した土地でしたが、だれもその本当の価値に気づかず、荒地のままでした。ところがグッドネーブーズ・ネパール（GNN）との事業が始まり、私たちは土地の経済的価値を知りました。私たちは GNN と共に農民のグループを結成し、高地での栽培が適している、アティスという高値で売れる薬草を最初に栽培することに決めました。その他の穀物の生産を妨害しないことも、きちんと調査済みです。

GNN はアティスの種と栽培に必要な器具を提供してくれ、私たちは荒れ地に 20,000 もの苗を植えました。今はアティスを育てて、収入を得ています。栽培したアティスから種を集め、生産高を上げるために苗床をつくりました。近いうちに、グループ全体で約 6,400 kg（約 480,000 ルピー/約 8,000 ドルの価値）を収穫する予定です。

そして最後にもうひとつ、我々農場主は、今回のようなグループで行う農業モデルを推進していくべきだと感じています。現在私たちはリンゴの栽培も始めたところで、これが地域全体の経済発展を後押しするようになってほしいと願っています。

ブンナラルさん



苗床を作る農民グループ

2012 ケニア活動報告

ジャンボ(こんにちは!)

ケニアの子ども達や家族を支援していただきありがとうございます。みなさまのご支援により、子ども達や家族は未来が見えるようになり、自分達の持つ能力を十分に発揮して意欲的に成果をだしています。また、子ども達の生きる術となる教育環境を整えるべく支援していただいたことに、住民達もとても感謝しています。

2012年、ケニアでは多くの良い変化がありました。無料ランチプログラムでは2,866人以上の子ども達が支援を受けています。このプログラムでは、子ども達が学校を辞めることなく栄養のある食事を摂り、栄養失調のケースを最小限にとどめることができました。

ケニアはまだまだ深刻な貧困問題を抱えており、その一番の被害者となるのは子どもと女性です。そのため、グッドネーバース・ケニアでは子ども達が教育を受けることで自分の可能性を發揮できるように支援しています。また、社会において女性が積極的な役割を担えるよう、意識や知識向上へと働きかけています。

2013年には、約8,000人の子ども達が教育面で支援を受けられるよう、地元ボランティアが積極的に子どものケアに参加する予定です。さらに、教育、保健衛生、収入向上支援によって、子どもの家族がより良い生活環境で過ごせるよう努めていきます。

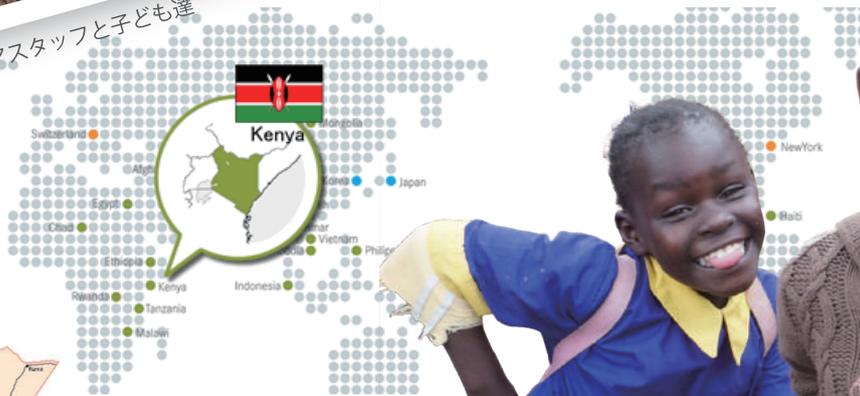
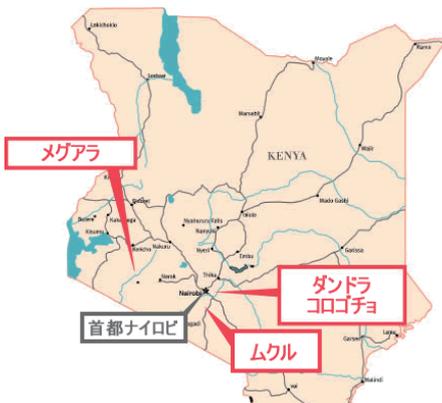
アサンテ サーナ(ありがとうございます!)

グッドネーバース・ケニア
事務局長 パク・ヨンウォン



グッドネーバース・ケニアスタッフと子ども達

活動地域



活動の成果

- ✓ 2,208 人の子どもに初等教育の学費を支援
- ✓ 毎月生理用ナプキンの提供を受けた女の子 2,150 名
- ✓ 360 人の農民が収穫高向上の研修を受講
- ✓ 3,650 名の親子が子どもの権利について学んだ

技術指導とローンで収穫高アップ

こんにちは。私はメグアラで地域開発委員会の委員をしています。我々の地域は、牛、ヤギ、羊などの畜産で成り立っています。また、養鶏及び養蜂に加え、トウモロコシ、豆、ジャガイモ、トマト、シコクビエを生産しています。グッドネーバーズ・ケニアの支援で、ほぼ全ての農民が近代生産法の訓練を受けただけでなく、資本として長期低金利貸付を受けているおかげで、全員の収穫高が増加傾向にあります。よりよい未来のために我々の地域生活が改善されてきていることに嬉しく思うと同時に、みなさまに感謝しています。

タマ・レリオニサさん



皮膚の難病の治療を受けています

こんにちは。私の名前はオウエンディです。10 歳です。小学校に通っています。ナイロビにあるコロゴチョというスラム街に住んでいます。私は先天性魚鱗せんという皮膚の難病を持って生まれました。皮膚が鱗のようにはげ落ち、とても痒くて痛いです。この病気は視覚にも影響し、視力を失いかけたこともあります。両親はこの状態を知ると私のことを捨て、私はその後善意ある人々のもとに引き取られました。何とかやっていける状態ではあったのですが、必要な薬を買ってくれる人がいませんでした。この容貌のせいで、友達とは付き合うのも嫌がり、私はいつも悲しくさびしい思いをしていました。

でもグッドネーバーズの医療支援プロジェクトにより、必要な薬を毎月投与してもらっています。症状は良くなり、視力も戻りました。今ではもう痒くないし、皮膚もきれいにいなくて、友達も戻ってきました。私の保護者は、毎月私の医療援助ができるよう、グッドネーバーズ運営の穀物店を任されるようになりました。今では家に食料がたっぷりあるし、学校でも楽しく過ごしています。グッドネーバーズの皆様にいただいた全ての援助をありがたく思っています。世界中の病気に苦しむ子ども達がよくなるように祈っています。

オウエンディちゃん



2012 エチオピア活動報告

エンデミナチウ！デーナナチウ？（こんにちは！お元気ですか？）

グッドネーバーズ・エチオピアでは、政府や NGO と共に教育、医療、衛生支援を行い、貧困層の生活改善に努めています。生活の質を高めるために、子ども達には教育の機会を提供し、両親達（特に母親）には収入向上支援を行っています。

教育支援では、6,000 人の子どもへ学用品や授業料を支援するなか、健康診断も実施し健康状態の維持や病気の予防に努めています。教育的・文化的に不利な環境にいる地域への対応として、地域図書館やコンピューターセンターも運営しています。

2012 年は、地域の衛生や生活環境の改善に重点を置きました。すべての地域でトイレ建設を行い、リデタ地域で下水道改善、イエカ地域では貧困家庭の家の改補修、シダマ地域では幼稚園や図書館の改補修、井戸建設を行いました。

特にヘトサ地域は干ばつの被害が頻繁な乾燥した農業地帯で、住民の多くが貧困層であり、かつ教育・文化施設が少ない地域です。この環境改善のため、2009 年からヘトサで事業を始め、子どもや地域住民の生活改善のために努力してきた結果、2012 年 10 月にヘトサ・ホープセンターの建設を始めることができました。

改めてエチオピアの子ども達の生活に希望を与えてくださったサポーターの皆様のご支援に深く感謝しています。引き続き継続的なご支援をよろしくお祈りします。

エナメセギナレン！デーナフヌ（ありがとうございます。さようなら）

グッドネーバーズ・エチオピア
事務局長 チョン・クムナ



グッドネーバーズ・エチオピアスタッフ一同



活動地域



活動の成果

- ✓ 教科書・文房具・かばん・制服などの学用品を、支援対象の全ての子ども達 6,443 人に支援
- ✓ 健康診断を受けた子どもの数 4,663 人
- ✓ 5 カ所の職業訓練センターを運営
- ✓ マイクロクレジット*に 105 世帯が参加、返済率は 100%

*マイクロクレジット：貧困層向けの小規模金融サービス

家畜用ため池建設事業

地域 オロミア州南部ボレナ県ドゥグダ・ダワ郡
期間 2012年9月～2013年2月
対象 牧畜農家 117 世帯

2011年の大干ばつ発生時、この地域の牧畜農家は食糧と水不足により家畜の大半を失いました。次に起こりうる干ばつや毎年の乾季に備え、グッドネーブーズ・ジャパンは家畜用のため池(容積3300トン)を建設しました。雨が降るとこのため池に雨水が溜まる仕組みになっており、年間を通して安定した量の家畜用の飲用水を得ることができます。掘削作業には住民約 200 名を雇用し、ため池を長く適切に使うための管理委員会も住民らによって結成されました。

※この事業はジャパン・プラットフォームの助成により実施しました。



排水のための水路や堤防も併設

言葉にできないくらい幸せです

みなさんお元気ですか？私の気持ちをお伝えすることができて嬉しいです。私は首都のアディス・アベバに住んでおり、ティレット・ソーイング協同組合の代表です。グッドネーブーズ・エチオピア（GNE）と出会うまでは、私も同僚たちも人生の方向性を失って希望が持てず、仕事もなく、食べるものや着るものもないときもありました。

2011年に、私は GNE の作業員宿舎で6カ月間お裁縫のトレーニングを無料で受けるチャンスを得ました。トレーニングだけでなく、起業の心得や共同して働くことの大切さも教えてくれました。GNE は私達を励まし、子ども達の学生服を作る職を紹介してくれました。

この経験に刺激を受け、私の人生は大きく変わり始めました。4カ月の間に私の人生は完全に変わり、技術を身につけ、収入を得られるようになりました。現在私は銀行口座を開き、積立をしています。家族のため、自分の将来のためにお金を使うことができます。

改めて言いますが、言葉にできないくらい幸せです。本当にありがとうございます。

ウディネッシュさん



制服を縫うウディネッシュさん

2012 チャド活動報告

アッサラーム アライクム! (こんにちは!)

国際的に厳しい経済状況が続く中、チャドへご支援いただきありがとうございます。サポーターの皆様、私達の活動に関心をもってご支援していただけることが、地域住民にとっての大きな力になっています。

グッドネーバース・チャドでは、様々なコミュニティー開発プロジェクトを実施しており、地域住民への期待に応えています。特に力を入れているのが、HOPE SCHOOL (希望の学校) と名付けられた小学校の建設事業や、2012年に始まった新規ビジネス活動の増収を目指したプロジェクトです。

今後も地域住民のための研修や支援を実施していきます。グッドネーバース・チャドでは、サポーターの皆様に良い成長と変化をお伝えできるよう活動を続けていきますので、引き続きご関心とご支援をよろしくお願い致します。ありがとうございます。

マアッサラマ (さようなら)



グッドネーバース・チャドと日本のスタッフ

グッドネーバース・チャド
事務局長 パク・クンソン



活動地域

- ワーリア
- アムナバク
- カリワ
- パリスコンゴII
- アントウコウイ
- アベナアトロン
- カシ
- クンドゥル
- カンバ
- カルウェイ
- ファシヤアテレ
- ドゴレ
- マンダリア
- アリガルガ



活動の成果

- ✓ 4,803 人に初等教育の授業料を支援、1,033 人に中等教育の授業料を支援
- ✓ のべ 3,600 人が診療所を利用
- ✓ 28 の地域で給水ポンプと公衆トイレを設置し、25,200 人に安全な飲料水を提供
- ✓ 203 人のボランティアと 260 人の地域開発委員が活動中
- ✓ 100 世帯に種苗および農具を支援

干ばつ緊急支援

地域 ハジェル＝ラミ州、カネム州、シャリ州
期間 2012 年 8 月
対象 1,786 世帯（約 14,000 人）
内容 各世帯に 50 kg の米を配布

アフリカのサヘル地域において、2011 年 3 月初めから干ばつによって食糧危機が発生し、1,500 万人もの人々が生命の危機にさらされていました。グッドネーブーズ・ジャパンは 2 名のスタッフを派遣し、特に被害が深刻な 3 地域で食糧支援を実施しました。※この事業はジャパン・プラットフォームの助成により実施しました。



会場に集まった人々

早く学校に行きたいな！

アリガルガの地域開発プロジェクトに、とても賢く勤勉なアリ＝ハッジェ フィリザッカリア君という 9 歳の男の子がいます。昨年までナイジェリアとの国境近くで働いていたお父さんと一緒に住みお父さんを手助けしていましたが、残念なことに昨年お父さんが亡くなってしまいました。

彼は家族のいるワリアに戻ることでとなりましたが、お母さんの稼ぎでは一家の暮らしはまなりません。そんな時に、グッドネーブーズ・チャドの学校建設について耳にしたアリガルガに住むおばあちゃんが、彼を自分の自宅から学校に行かせるよう勧めました。とても頭がよく学校で学ぶことを望んでいたザッカリア君は、今はアリガルガでおばあちゃんと一緒に暮らしながら地域の学校に通っており、学校が一日も早く建設されることを心待ちにしています。

ザッカリアくん



おばあちゃんと一緒に

9カ国以外にも、必要なときに、必要な場所へ。

ルワンダ 給水施設建設 チャリティーランで、キレイな水を届けよう

地域 南部州カモニ県ルンダ郡カギナ地区
期間 2012年12月～継続中
対象 985世帯(5,211人)
内容 給水施設4基設置 / 住民への衛生教育



【皇居の周りを走る参加者】



【キレイな水がいつでも飲めるように】

2012年10月、NPO法人ワールドランナーズ・ジャパン様が主催する「チャリティーラン in グローバルフェスタ JAPAN2012」が東京で開催されました。このイベントは、マラソンをしながら非営利団体の活動を応援するというもので、906名もの参加者が集まり、その参加費がグッドネーバース・ジャパンが実施するルワンダの給水施設建設と住民への衛生教育に充てられることになりました。

対象となったカギナ地区に暮らす少数民族トゥワ族は長い間差別を受け、政府による支援が届かず孤立状態にありました。住民は川や用水路の不衛生な水を、家から何キロも離れた危険な場所まで汲みにいかなければならず、時間的にも体力的にも大きな負担となっていました。

グッドネーバース・ジャパンはこのカギナ地区に給水施設を4基設置し、住民たちは容易にきれいな水を使えるようになりました。さらに現在は、保健師らの指導により、水をより安全に使うための衛生教育を実施する準備を進

ベトナム 貯水用水がめ建設 メコンデルタの住民に安全な水を

地域 ヴィンロン省ビンタン県内の5郡
期間 2012年8月～11月
対象 1,194世帯(5,521人)
内容 貯水用の水がめ1,194基設置



【川で洗い物をする住民】



【完成した水がめと子どもたち】

ベトナム南部のメコンデルタに位置するビンタン県には水道設備がなく、住民は近くの川で汲んできた水を生活用水として使っていました。しかし川の水は洗剤やシャンプー、農薬などで汚染されており飲み水には適さないため、雨季中は容器に溜めた雨水を飲料水として活用しています。空気がきれいで汚染度の低い雨水は、味も良く安心して飲めるのです。

ただ、多くの家庭は小さな水がめしか持っておらず、雨水を十分に貯めることができませんでした。そのため住民たちは衛生的によくないことを知りつつも、汚染された川の水を飲むしかない状況でした。

「大きな水がめがあれば家族みんなの飲み水を貯められるのに」そんな住民の声を受け、グッドネーバース・ジャパンはビンタン県内の1,194世帯に貯水用の大型水がめを設置しました。雨季中の豊富な雨量を利用して、約1,000ℓの雨水をこの水がめに貯めることができます。

※この事業はジャパン・プラットフォームの助成により実施しました。

受益者の声 「今までは雨水が足りず、川の水を煮沸して飲んでいました。本当は浄化剤を使った方がいいのですが、お金がかかるのでいつも買えるわけではありませんでした。でも今はこの水がめがあるので、家族全員分の飲み水を、3カ月分くらいは貯められると思います。小さな子どもは特に敏感なので、安全な飲み水を得ることができて嬉しいです。」



ミャンマー

乾燥地帯のニーズ調査

調査から見た教育や収入の課題

地域 マグウェ管区シンバウエ
期間 2012年11月～2012年12月/2013年2月～3月
対象 僧侶/村長/教師/助産師/ヘルスワーカー/住民
内容 水/保健/教育/雇用に関するインタビュー



【中学校・高校の数が不足している】【住民の家でインタビュー】

グッドネーバース・ジャパン (GNJP) の姉妹団体であるグッドネーバース・ミャンマーが活動しているシンバウエは乾燥地帯にあり、水不足が深刻とされていました。GNJP は現地の状況を把握すべく、スタッフを派遣し調査を実施しました。2度にもわたる調査の結果、水不足以外にも教育の欠如と収入の低さが深刻であることが明らかになりました。ここでは小学校は無料で通えますが、学用品にお金がかかる、中学校の学費が払えないなどの理由の他に、学校自体が少なく通えない、壊れた教室を修繕する費用がない、といったことが原因で教育を満足に受けられないケースが多く見受けられました。地域が抱える課題は、こうした現地での調査によって明らかになります。GNJP としてどんな協力ができるのか、今後も可能性を探っていきます。

グアテマラ

大地震緊急支援

倒壊した家屋の建設を支援し、新たなスタートへ

地域 サンマルコス県内の3市
期間 2012年12月～2013年1月
対象 310世帯 (1715人)
内容 木材13本/セメント80kg/トタン22枚
防寒着5人分を各世帯に配布



【配布会場に集まった受益者】 【防寒着を身につけた子ども】

2012年11月7日にグアテマラを襲ったM7.2の大地震は、死者50人以上、25,000人ももの負傷者を出しました。この地震で約3万戸もの家屋が損壊し、家を失った住民たちは避難所や親せきの家に避難していました。

グッドネーバース・ジャパンは最も被害が大きかった地域にて、倒壊した家屋を建て直すための資材を配布しました。また対象地は朝晩になると氷点下まで気温が下がるため、防寒着も併せて配布しました。

標高2,000mを超えるこの地域はアクセスが悪く、政府や他の団体の支援もなかなか届かない状況にありました。今回受け取った資材で住民たちは新たに家を建て直すことができ、避難所や近所の家に避難していた住民からは、「自分の家にまた住めるようになってうれしい」「日本も震災があって大変なのにありがとうございます」との声が聞かれました。サンマルコス県では学校や病院などもダメージを受けており、元通りになるにはまだまだ時間がかかりますが、一歩ずつ再建の歩みを進めています。

※この事業はジャパン・プラットフォームの助成により実施しました。

受益者の声

「地震でお気に入りのキッチンも暖炉も家も全て失いました。私は夫を亡くし、3人の孫と暮らしていますが、政府には私の家は支援できないと断られました。どこからも支援が受けられなかったので、日本の支援に感謝しています。今は新しい家があるので、また仕事を始めることができます。きっと恩返しはできませんが、日本のためにいつも祈っています。」



広報・啓発活動

報告会・セミナー・講演

東日本大震災復興支援活動報告会 ～日本とモルディブ、津波が結んだ絆～

日程： 2012年2月25日 場所：JICA 東京

登壇者：Reemaan Haris さん・Reehaam Haris さん・Yumna Waheed さん

内容： 2004年、M9.1のスマトラ島沖地震でモルディブは大被害を受けましたが、日本の援助で作られた防波堤のおかげで、首都マレは奇跡的にほぼ無傷でした。報告会では、恩返しとしてモルディブから東北に届けられた支援にまつわる心温まるエピソードをお伝えしました。



サポーター交流会

日程： 2012年6月30日 場所：グッドネーバース・ジャパン事務所

内容： 日頃からご支援いただいているサポーター様を事務所にご招待し、交流できる場を設けました。現地での寄付の使われ方や、グッドネーバースの活動や途上国の文化など、さまざまな話題で盛り上がりました。



拓殖大学 講演会

日程： 2012年6月1日・7月10日 場所：拓殖大学

講師： 高久将一・本城史絵・高垣隆博 (GNJP)

内容： 【第一回】「夢実現のためのワークショップ」「青年海外協力隊 OV と対談」
【第二回】「NGO で働くということ」



サヘル地域干ばつ緊急支援活動報国会

日程： 2012年9月11日 場所：文京区勤労福祉会館

報告者：高垣隆博・齋藤千尋 (GNJP)

内容： アフリカのサヘル地域を襲った干ばつの緊急支援活動の報告会を実施しました。※緊急支援活動の詳細は P21 に掲載



ネットワーク

世界一大きな授業キャンペーン 2012 ～震災から見えてきた教育の大切さ～

日程：2012年4月16日～30日 場所：全国各地

主催：教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)

内容：「世界中の子どもに教育を」というテーマで、2003年より毎年実施している本キャンペーンは、世界 100 カ国以上で展開されています。2012年には日本で 502 校、55,485 人がこの授業を受け、政治家に日本の教育支援の拡大を提案するなど、参加規模は年々拡大しています。GNJPは2010年から実行委員として参加しています。



児童労働反対世界デーキャンペーン 2012

日程： 2012年5月5日～6月30日 場所：全国各地

主催： 児童労働ネットワーク (CL-Net)

内容： GNJP が運営員会に参加している CL-Net では児童労働の撤廃を目指すキャンペーンを実施しており、2012年には全国から 28 万人の署名が集まりました。メインイベントではウガンダの子ども兵士だったミシェル・チクワニネさんが自身の体験を語り、478名の参加者が耳を傾けました。



イベント

クッキングワークショップ～作って食べて途上国を応援しよう～

日程： 2012年2月5日 場所：アカデミー湯島

内容： 料理を通して異国の文化に親しみを持っていただくイベントを開催しました。今回はボランティア団体ノボディゴント代表の在日バングラデシュ人であるアニスルさんと一緒に会話を楽しみながら、バングラデシュの伝統的なカレーを作りました。



【ブース出展】第2回アフリカヘリテージフェスティバル 2012

日程： 2012年3月24・25日 場所：淵野辺公園

主催：アフリカヘリテージコミュニティ

内容：アフリカのコーヒー・紅茶・雑貨の販売の他、ケニア・エチオピア・チャドなど、グッドネーブーズのアフリカでの活動を紹介するパネル展示を行いました。タンザニアのコーヒーと紅茶などいくつかの商品は完売となってしまいうほど大盛況でした。



【ブース出展】地球愛祭り 2012 in 東京

日程： 2012年7月14日 場所：代々木公園

主催：地球愛祭り東京実行委員会

内容：活動紹介パネル展示の他、バングラデシュの職業訓練校で作られたしおりやフェアトレードの紅茶や雑貨などを販売しました。



アジア美人入門 ヘナタトゥー体験 & Cafe イベント

日程： 2012年8月12日 場所：Social Energy Café

内容：グッドネーブーズの支援国であるインドの文化を気軽に体験できるイベントを開催しました。障害者支援福祉施設で作られた授産製品やグッドネーブーズ支援国の紅茶を飲んだり、体のお好みの部位にメヘンディ（ヘナタトゥー）をペイントして、おしゃれを楽しみながら国際協力に関心を持っていただけました。



【ブース出展】グローバルフェスタ JAPAN 2012

日程： 2012年10月6・7日 場所：日比谷公園

内容：活動パネル展示、活動紹介、物品販売。チャリティランの支援団体に選出されました。

※詳細は P22 に掲載



南アジア料理の王様 ビリヤニパーティー

日程： 2012年8月12日 場所：レストラン「ビリヤニマサラ」

内容：グッドネーブーズ・ジャパンの支援国であるインド・ネパール・バングラデシュのビリヤニを食べ比べながら、グッドネーブーズの活動や各国の文化を知るイベントを開催しました。おいしい料理を囲んで、参加者同士の会話もはずみました。



Charity Drinking Night

日程： 2012年11月14日 場所：Social Energy Café

内容：アジアの珍しいお酒と障害者福祉施設の食材を使ったコース料理を堪能できる大人のためのチャリティーイベントを開催しました。参加者の皆さまからは、「食べるチャリティーが新鮮だった」、「食べて社会貢献ができて楽しかった」などの感想をいただきました。



会計報告

2012 年度収支計算書 (2012 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日)

収入の部

(単位:円)

I 経常収入の部		
事業収入		4,784,077
補助金等収入		48,777,080
助成金収入	48,777,080	
寄付金収入		39,759,461
その他収入		16,670
利息収入	16,670	
経常収入合計		93,337,288
II その他資金収入の部		
保証金解約収入	500,000	
その他の資金収入合計		500,000
前期繰越金		67,031,523
収入合計		160,868,811

支出の部

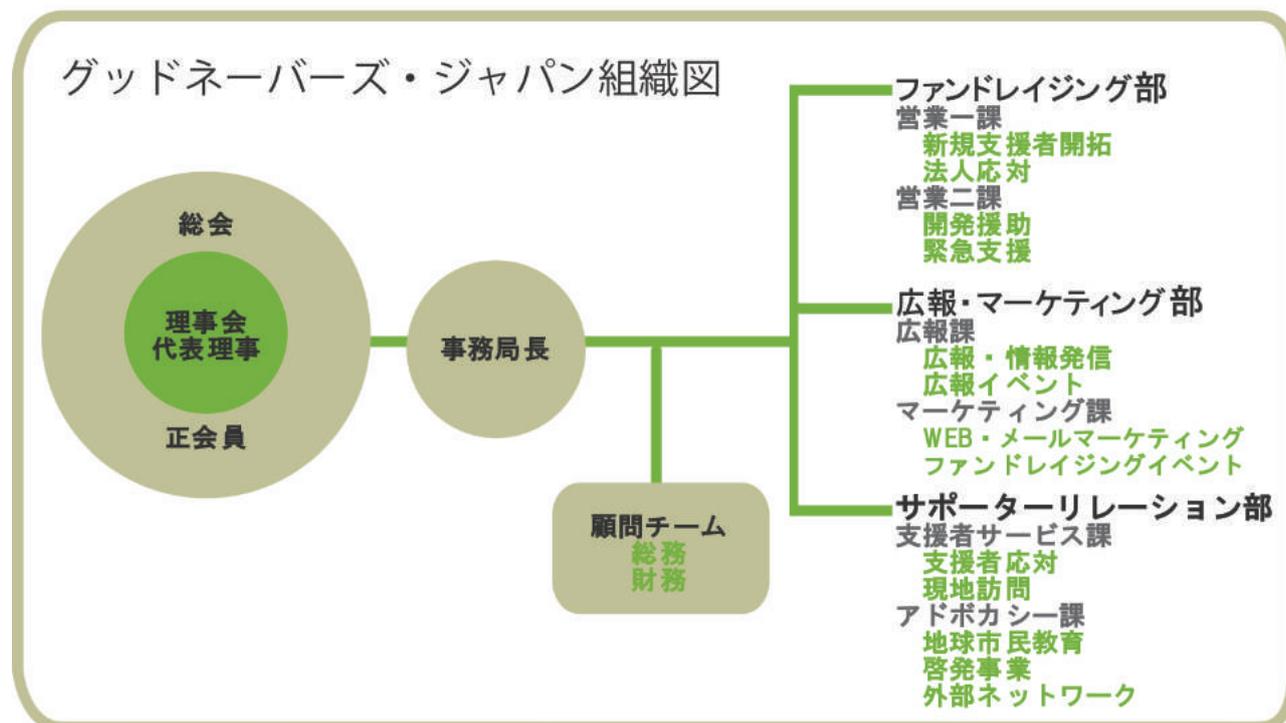
III 経常支出の部		
1 事業費		
(1)開発途上等の子ども達並びにその家族および地域社会のための地域開発支援事業	11,007,217	
(2)開発途上等における、大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援	74,954,316	
(3)地域開発支援事業への支援者と、開発途上国の子ども達ならびにその家族および地域社会との間の相互理解の促進	6,007,718	
(4)国際協力に対する日本の人々の理解を深める啓発事業	6,990,436	
(5)国際協力に参加する機会を広く日本の人々に提供する普及活動	10,486,596	
事業費合計		109,446,283
2 管理費		5,510,504
経常支出合計		114,956,787
IV その他資金支出の部		
保証金支出	773,500	
その他の資金支出合計		773,500
次期繰越金		45,138,524
支出合計		160,868,811
当期収支差額		0

貸借対照表(2012年12月31日現在)

(単位:円)

I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金預金	47,095,911		未払金	3,885,001	
未収金	616,816		預り金	350,182	
貯蔵品	5,980		流動負債合計		4,235,183
仮払金	1,655,000		2 固定負債		
流動資産合計		49,373,707	固定負債合計		0
2 固定資産			負債合計		4,235,183
保証金	803,500		III 正味財産の部		
什器備品	148,366		前期繰越正味財産		67,718,131
固定資産合計		951,866	当期正味財産増減額		21,627,741
資産合計		50,325,573	正味財産合計		46,090,390
			負債及び正味財産合計		50,325,573

組織概要・役員一覧



理事・顧問

代表理事： 福井 玲（東京大学教授）
 副代表理事： 窪 誠（大阪産業大学教授）
 常務理事： 小泉 智（グッドネーバース・ジャパン事務局長）
 理事： 韓 福相（大阪産業大学教授）
 李 健泳（新潟大学教授）
 李 一夏（グッドネーバース・インターナショナル会長）
 監事： 小林 貴（株式会社奈良屋代表取締役）
 法務顧問： 金子 憲康（弁護士）
 財務顧問： 戎井 重樹（公認会計士）
 労務顧問： 浅井 浩次（特定社会保険労務士）
 税務顧問： 東京さくら会計事務所

加盟団体・参加ネットワーク

JANIC（国際協力 NGO センター） / JPF（ジャパン・プラットフォーム）
 CL-Net（児童労働ネットワーク） / なんとかしなきゃプロジェクト
 JNNE（教育協力 NGO ネットワーク） / 日本ファンドレイジング協会
 「動く→動かす」（GCAP Japan） / NGO-JICA 協議会
 CSR 推進 NGO ネットワーク / 子どもの権利条約 NGO グループ / 日本
 「ESD の 10 年・世界の祭典」推進フォーラム / NGO-労働組合国際協働フォーラム

2012 年に格別なご寄付を頂いた企業・団体・個人の方々（五十音順）

株式会社電通 電通古本市の会 様
 株式会社ベネッセホールディングス CSR 推進部 任意団体ベネッセ募金会事務局 様
 ポウ展実行委員会 様 / 山岡 直子 様
 JANIC（国際協力 NGO センター）様 / Junkiss 様 / TRI4JAPAN 様

世界中の
子ども達に
笑顔を

特定非営利活動法人グッドネーバース・ジャパン

〒143-0016 東京都大田区大森北2丁目14-2 大森クリエイトビル3階

TEL : 03-6423-1768 FAX : 03-6423-1766 E-MAIL : admin@gnjp.org

HP : <http://www.gnjp.org> Twitter : @GNJapan Facebook : [facebook.com/gnjapan](https://www.facebook.com/gnjapan)